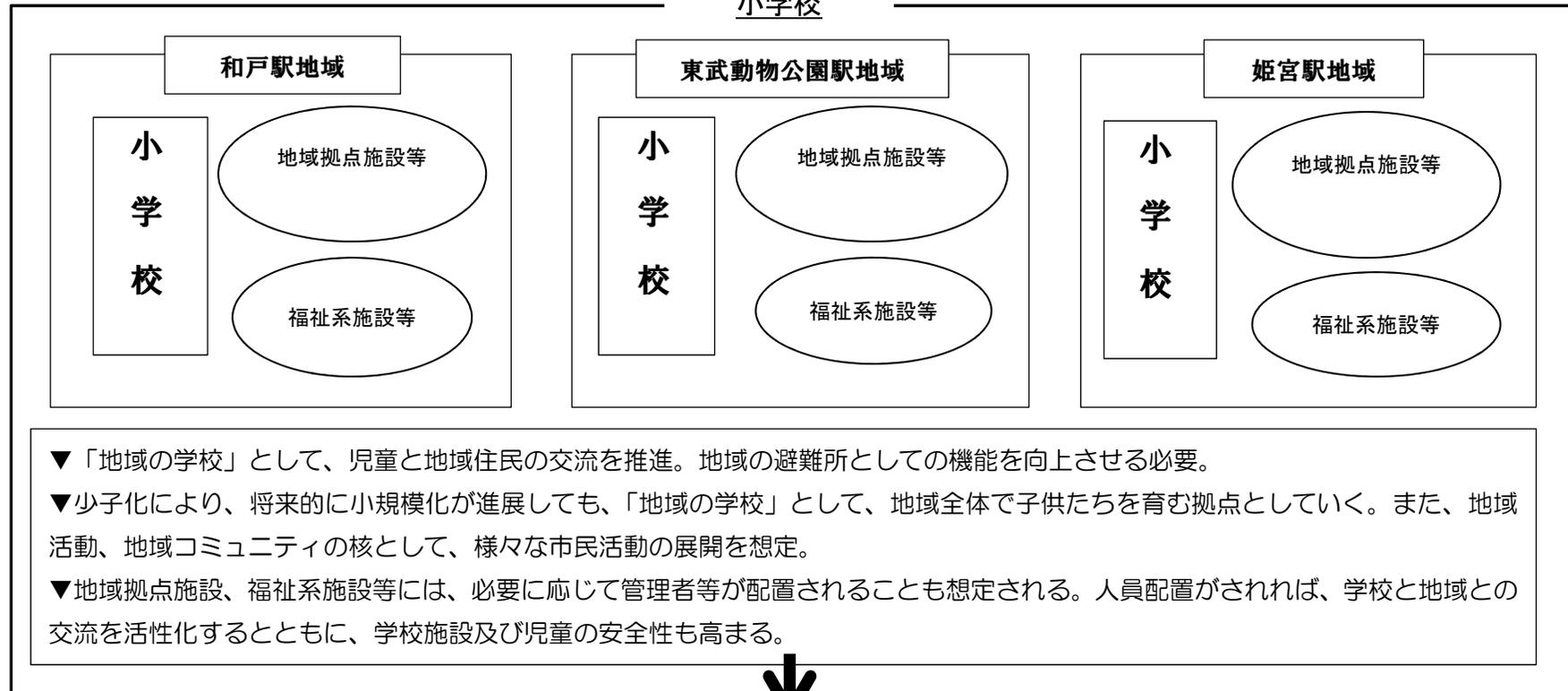


適正配置計画における学校と地域との関係性の将来イメージ

小学校



中学校

現在の方向性：3つの中学校を廃止し、新たに、町の中央部付近に1校を設置。

メリット

- ・町内の小学校卒業の全児童が、1校で学ぶことで、新たな人間関係の構築、生徒同士が切磋琢磨できる環境の整備、各教科への教職員の配置など教育の充実、部活動の強化・活性化などを図る。
- ・学校の適正規模を持続的に確保していく（12学級から18学級）。

課題等

- ・既存中学校の廃止により、中学校がなくなる地域がある。
- ・通学距離の遠距離化、それに伴う通学時の安全性確保。